

(様式第2号)

## 協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。

提案団体名	団体名	一般社団法人ぐるーん (担当者 河本美津子)			
	合同提案団体 (*協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)				
協働する岡山市の担当課等と担当者	課名	こども総合相談所		電話	086-803-2525
	担当2名	職名	総務課長	職名	措置課長
		氏名	出原 晋一郎	氏名	植山 一夫
提案事業の名称	里親委託を推進するための、里親制度の普及啓発				
提案事業の目的	里親・養子縁組制度の普及・啓発を通して、里親登録数の増加と養育スキルの向上を図る				
解決をはかりたい課題の緊急性・重要性等(市民ニーズ含む)  ※ニーズ把握等で行った調査資料等がある場合は添付してください。	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状 社会的養護が必要な児童について、国は里親・ファミリーホームへの委託児童割合を3分の1にする方針を示しているが、岡山市の平成27年度当初里親委託率は11.8%で全国平均15.6%を下回っており、政令市20市の中でも14番目となっているのが現状である。また岡山市内の里親登録数は約90名であるが、児童の状況に応じた委託は難しい状況がある。</p> <p>2. 市民ニーズ まずは岡山市内にも家庭環境での養育を必要とする児童がいること。また「そういった子ども達のために何かしたい」という思いから当団体で活動を行うメンバーは年々増え続ける一方、「養育里親はハードルが高い」との声も多く聞かれることから、一般にあまり認知されていない一時里親への潜在的なニーズの高まりを感じている。</p> <p>3. 課題解決の方策 里親制度に関する座談会の開催、施設の子ども達とふれあうワークショップの開催、既存の広報媒体の改善。</p>				
協働の必要性及び効果と目標  (協働の役割分担を含む)	<p>1. 協働の必要性和相乗効果 里親への登録や子どもとのマッチング等にはこども総合相談所の関わりが不可欠である。ぐるーんには、里親登録者、里親・養子縁組制度に関心をもつメンバーが多く在籍しており、乳児院・児童養護施設での抱っこを初めとした様々な活動を行っている。両者ともに里親・養子縁組制度の普及を目指しており、提携することにより広域な普及啓発が可能となる。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割 養育里親の数を増やすことを最終目標に、まずはハードルの低い一時里親を増やすことに尽力する。このために、施設入居中の子ども達と実際にふれあい理解を深め、里親制度に関心を持つきっかけが提供できるよう、花育や工作等のワークショップを企画開催する。当該ワークショップでは子ども達(里子候補)と一般市民(里親候補)が協力して1つの作品を作る。情緒や夢を育てる機会であり、施設や学校の先生とは違った大人とふれあう機会になる。適切な手助けや言葉かけにより、子どもが根気強くかつ楽しく作品に取り組むことができる。</p> <p>団体メンバーには里親登録者、現役の里親も在籍しているため、これまでも登録希望者の相談や、広報媒体作成時の体験談寄稿等を行っており、今後も可能である。また団体活動として里親・里子へのサポーター派遣事業も行っており、里親になったあとの孤立を防ぐと共に里親希望者の不安解消に尽力できる。</p> <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割 親と暮らせない子ども達の現状と家庭養育の必要性の周知、里親・養子縁組制度についての情報提供と専門的知見からのアドバイス。</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等 ひとりでも多くの子ども達が早期に家庭環境の中で生活ができることが目標。施設で暮らす子どもとふれあう経験がきっかけで里親登録者が出ていることから、ワークショップ事業を通じて里親登録を目指す市民が今後増えていくこと、さらに学区内里親の登録が期待される。</p>				

<p>事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親制度に関心がある市民を対象に、里親の重要性、里親制度の説明、体験談を聞くと共に登録を考えている者同士が交流できる機会を設ける（里親制度に関する座談会）。(年3回)</li> <li>・花育、模型作り等のワークショップを行う。(年5回)</li> <li>・里親月間パネル展の開催。(年1回)</li> <li>・他の里親先進都市も参考に既存の広報媒体を改善し、一般市民が情報をより得やすいようにする。養育里親だけでなく、ハードルの低い一時里親についての情報やQ&amp;Aを充実させる。</li> </ul>										
<p>事業の実施体制</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総括責任者 河本 美津子</li> <li>2. 個別事業責任者 座談会、ワークショップ、広報媒体改善 河本美津子 パネル展 出原 晋一郎</li> <li>3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ 全国のサポーター登録数は1000名を超え、岡山県は250名以上。東京都に続く人数となっている。定期的に施設に赴いたり年数回行うイベントに参加したりして、施設で暮らす子ども達とのふれあいを経験している者も多い。その中から里親登録者や里親経験者・里親から養親になった者等があり、関心を持つ市民や悩みを持つ里親登録者に対して適宜相談を受け付けてきた。また東京都では里親心得座談会の他に、毎年行うサポーター交流会には里親や専門里親の話を聞く機会を設けている。岡山市では3年連続して里親心得座談会を開催。一昨年は専門里親を招いての講演会(参加者延べ90人)、昨年は岡山県と連携した里親心得座談会(参加者50人)と里親に関するDVDの鑑賞会(参加者30人)等を開催した実績がある。</li> </ol>										
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6, 10, 1月</td> <td>里親制度に関する座談会(3回)</td> </tr> <tr> <td>5, 7, 11, 2月</td> <td>「花育」ワークショップ(4回)</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>模型ワークショップ「こんな家で暮らしてみたいな」(1回2日間)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>パネル展(10月里親月間内)</td> </tr> </tbody> </table>	月	実施事業内容	6, 10, 1月	里親制度に関する座談会(3回)	5, 7, 11, 2月	「花育」ワークショップ(4回)	8月	模型ワークショップ「こんな家で暮らしてみたいな」(1回2日間)	10月	パネル展(10月里親月間内)
月	実施事業内容										
6, 10, 1月	里親制度に関する座談会(3回)										
5, 7, 11, 2月	「花育」ワークショップ(4回)										
8月	模型ワークショップ「こんな家で暮らしてみたいな」(1回2日間)										
10月	パネル展(10月里親月間内)										
<p>実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	名称	期待される役割								
名称	期待される役割										
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<p><input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。</p> <p><input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p>具体的な目標(計画)があれば記載してください。</p> <p>この事業は養育里親登録数の増加を長期的な目標とするが、制度の認知・関心の広まりについては数字で成果を出すことが困難である。イベント毎の参加者のアンケート等も活用し、アプローチする対象者をより明確にし、よりステップアップした事業にする。まず今年度は一時里親登録数の増加、次年度以降の養育里親数の増加への継続を目指す。</p>										

(様式第3号)

## 協働事業収支予算書

提案事業名	里親委託を推進するための、里親制度の普及啓発
-------	------------------------

### <収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	0円	
	合同提案団体 負担金等	0円	
	自己資金等合計(a)	0円	
事業収入見込		0円	
事業収入見込合計(b)		0円	
岡山市補助金申請額(c)		1090000円	
収入合計(d) = (a) + (b) + (c)		1090000円	

### <支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	謝金	120000円	里親制度に関する座談会講師謝礼 20000円×1名×3回 ワークショップ講師謝礼 10000×1名×6回
	旅費(交通費)	30000円	里親制度に関する座談会講師交通費 10000円×1名×3回
	ワークショップ材料費	165000円	花育ワークショップ材料費 1000円×30人×4回 模型ワークショップ材料費 1500円×30人×1回
	印刷製本費	560000円	パンフレット作製費、各事業のチラシ印刷費
	消耗品費	40000円	文具、用紙代、会議・座談会用茶葉代等
	パネル展用パネル作成費	50000円	
	会場費	45000円	5000円×9
事業実施経費合計(e)		1010000円	
管理運営経費	人件費	80000円	1000円×2h×3名×3(座談会) 1000円×2h×3名×2(ワークショップ) 1000円×4h×3名(パネル展) 1000円×3h×4名×3(パンフレット) 1000円×2h(各事業のチラシ)
	管理運営費合計(f)	80000円	
総事業費(g) = (e) + (f)		1090000円	※収入合計(d)と同額

- (添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること  
2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること